

新卒者採用に関するアンケート調査(結果)

～「就職ガイダンス in 公益大(2025 卒向け)」出展企業 117 社に調査を実施 63社から回答～

■ 企業が最も求めている資質は「協働力」で、次に「傾聴力」、「会話力」と続く。

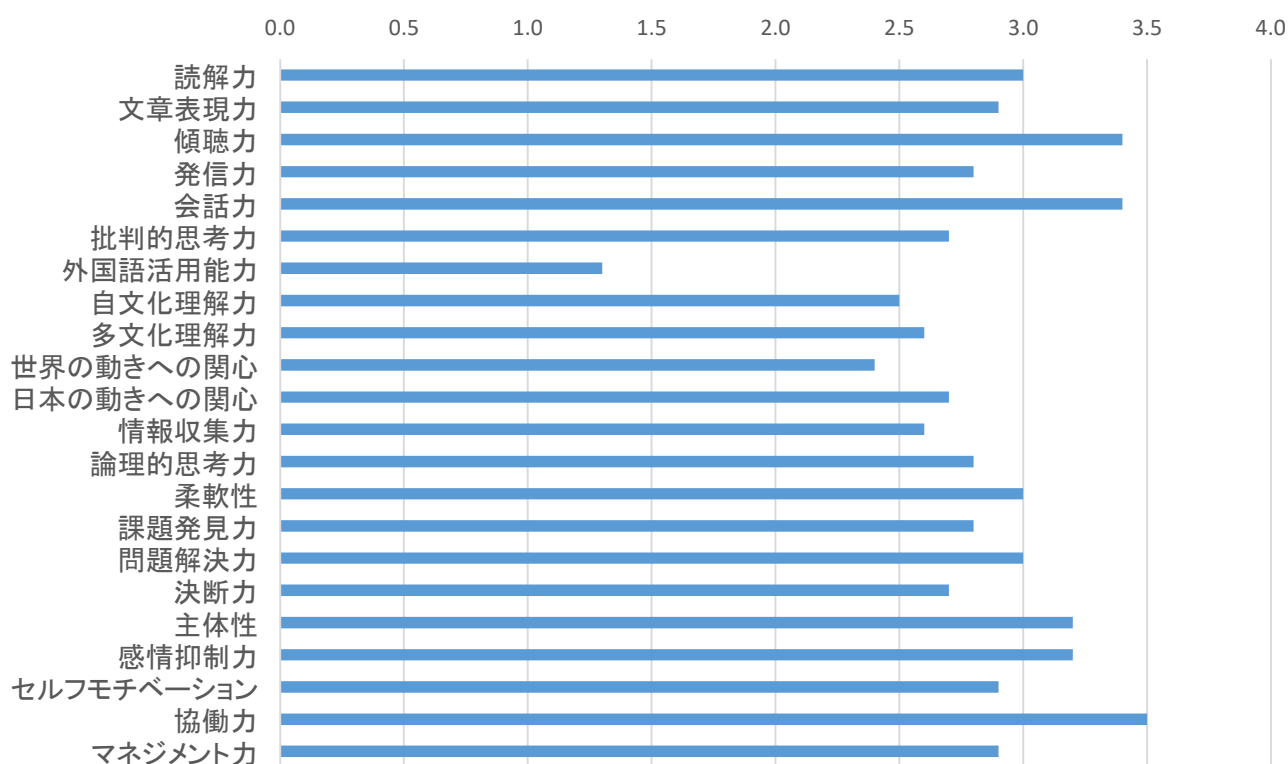
※「協働力」が平均値 3.5 で最も高い。回答企業の約半数の 30 社が到達段階5「チーム内のメンバーだけでなく、市民や外部団体等、異なる主体と共に、共通の目標のために、相手を尊重して、対等の立場で活動し、協力して作業にあたることができる。」、または到達段階4「チーム内のメンバーとの意見の違いを乗り越え、共通の目標のために、相手を尊重して、対等の立場で活動し、協力して作業にあたることができる。」というレベルを求めている。

■ 到達段階4以上の資質が求められるのは、上記の他に「感情抑制力」、「主体性」が挙げられる。

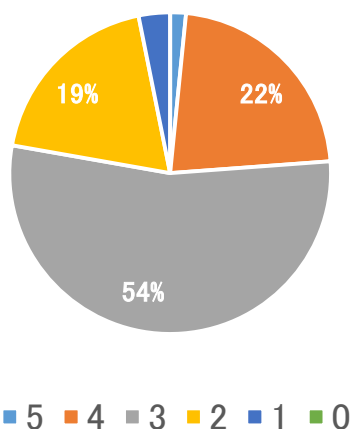
※「コミュニケーション力・発信力」、「国際感覚」、「創造力・企画力」、「リーダーシップ」の4分類の中では、「コミュニケーション力・発信力」と「リーダーシップ」を求めている企業が多い。

■ 「国際感覚」を求めている企業は少なく、特に「外国語活用能力」については、半数以上の企業 38 社が求める到達段階を1または0とし、4以上を求めている企業は1社のみ。

【新卒者採用において求められる資質の到達段階平均値】



<読解力>

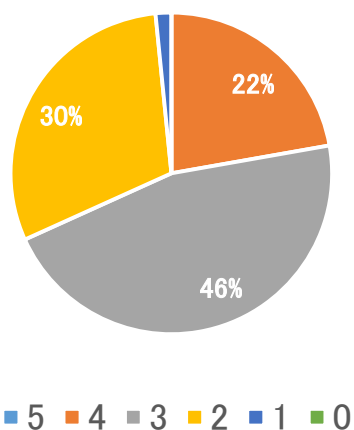


【平均値】 3.0

【到達段階】 3

記述された内容を十分理解し、要点をまとめることができる。

<文章表現力>

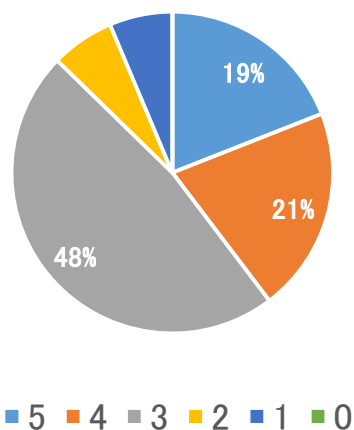


【平均値】 2.9

【到達段階】 3

自分の考えを正しい言葉遣いで誤字脱字なく適切に記述できる。自分の考えを述べるために資料を根拠として活用することができる。

<傾聴力>

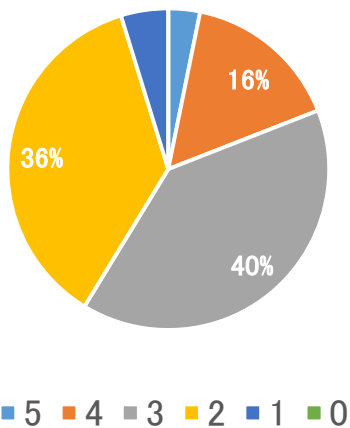


【平均値】 3.4

【到達段階】 4

うなずき等の相手が話しやすい態度で聴くことに加え、質問により意見を引き出すことができる。

<発信力>

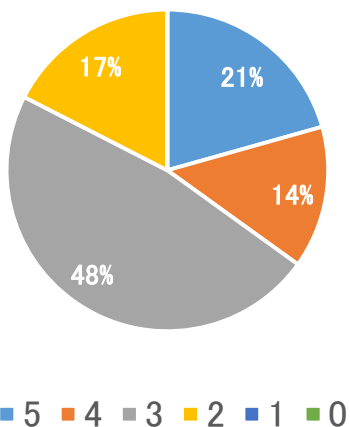


【平均値】 2.8

【到達段階】 3

スライドや配付資料、話の流れを工夫し、データや理由を交えて自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。書かれた資料を読みあげるのではなく、自分の言葉で発表することができる。

<会話力>

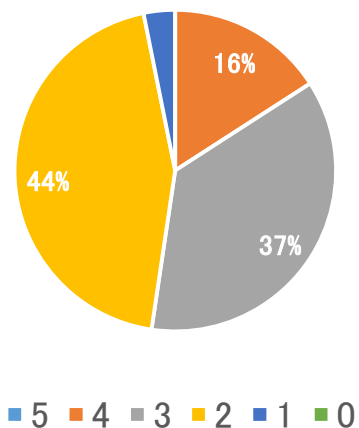


【平均値】 3.4

【到達段階】 4

日頃あまり面識のない人とでも会話をする事ができ、相手に応じて敬語や語り掛けるような話し方等の使い分けができる。また、どのような話題でも会話ができ、自分の意見を臆せずに言うことができる。

<批判的思考力>

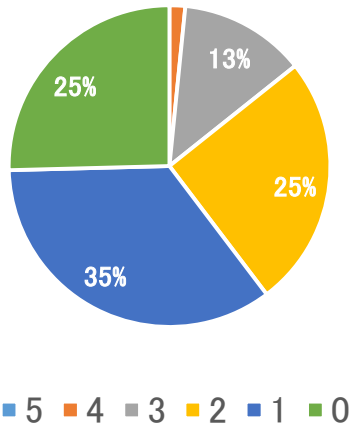


【平均値】 2.7

【到達段階】 3

主張の根拠の有無や信頼性、妥当性、主張の前提となる仮定の妥当性、主張の曖昧さ等の観点から、提供された情報や主張に対して系統立てた分析を行うことができ、問題点を明らかにすることができる。

<外国語活用能力>

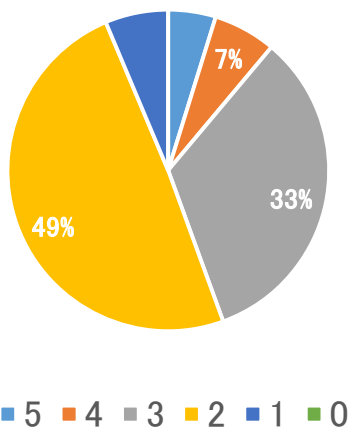


【平均値】 1.3

【到達段階】 2

よく使われる語で書かれた、短い簡単な文章が理解できる。出来事や個人的な経験等の身近な話題について短い文で書くことができる。はっきりとゆっくりした発音であれば、要点を理解できる。言葉に詰まったり、言い直すこともあるが、身近な話題であれば言いたいことを話して相手に伝えることができる。

<自文化理解力>

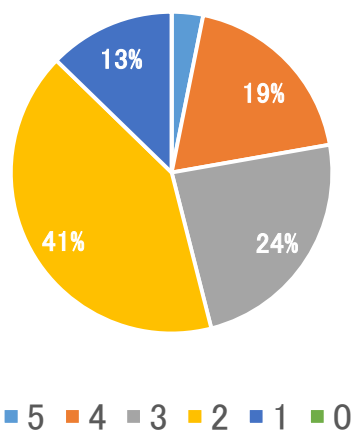


【平均値】 2.5

【到達段階】 3

自らが所属する国や地域について、様々な意見を聴き、理解することができる。多くの人が知っている一般的なテーマであれば、説明したり意見を述べたりすることができる。

<多文化理解力>

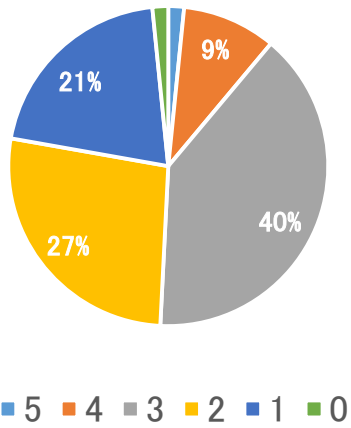


【平均値】 2.6

【到達段階】 3

歴史、政治、経済、コミュニケーション スタイル、生活様式等、異なる文化や価値観の存在を理解し、異なる文化を持つ人々を尊重している。

<世界の動きへの関心>

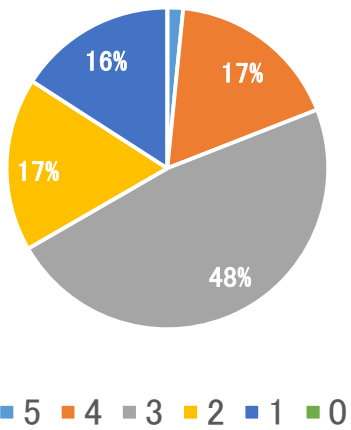


【平均値】 2.4

【到達段階】 3

国際情勢の情報を得るために、ニュースを見たり新聞を読んだりしている。

<日本の動きへの関心>

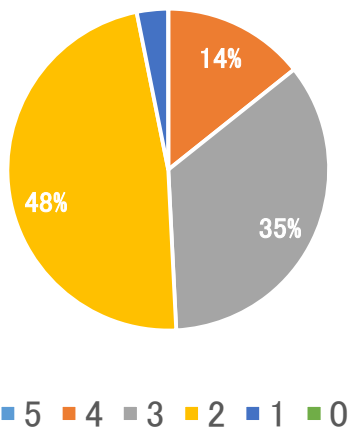


【平均値】 2.7

【到達段階】 3

日本や日本を取り巻く情勢に関する情報を得るためにニュースを見たり新聞を読んだりしている。

<情報収集力>

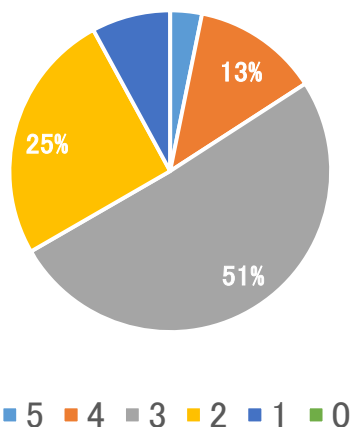


【平均値】 2.6

【到達段階】 3

データベースや学術書等を含めた様々な手段を活用し、必要な情報を複数入手した上で精査し、信頼性の高い情報を選択することができる。

<論理的思考力>

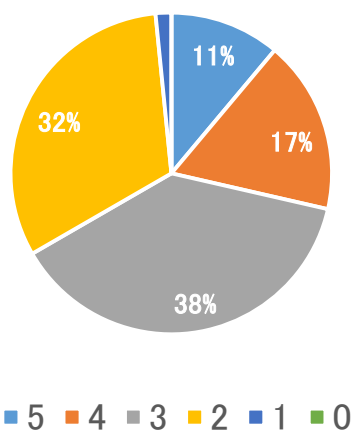


【平均値】 2.8

【到達段階】 3

複雑な事象や複数の情報を整理してわかりやすくまとめた上で、相手に筋道を立てて話すことができる。

<柔軟性>

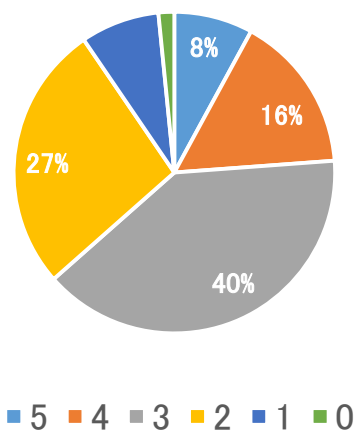


【平均値】 3.0

【到達段階】 3

自分とは異なる考え方ややり方に直面した際、こうした考え方が行われる背景を考察して受容した上で、建設的な対応をすることができる。

<課題発見力>

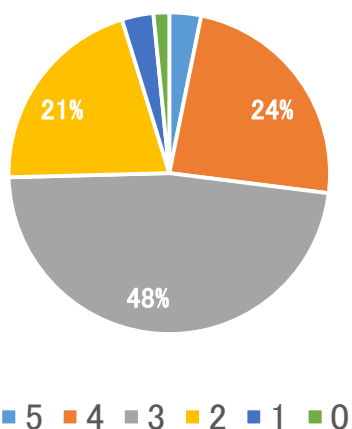


【平均値】 2.8

【到達段階】 3

現状と目標・理想のギャップを発見した上で、ギャップが生じる理由を考察し、解決すべき課題を複数発見することができる。

<問題解決力>

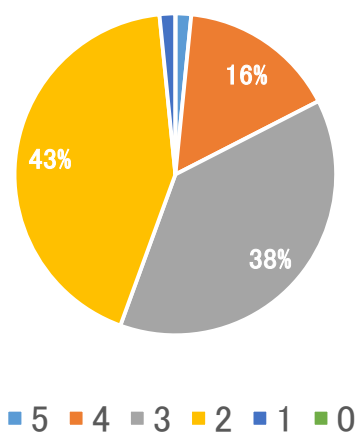


【平均値】 3.0

【到達段階】 3

複雑な問題に対し、自分自身またはチームで考え、過去の事例等の収集を行いながら問題解決策を提案できる。

<決断力>

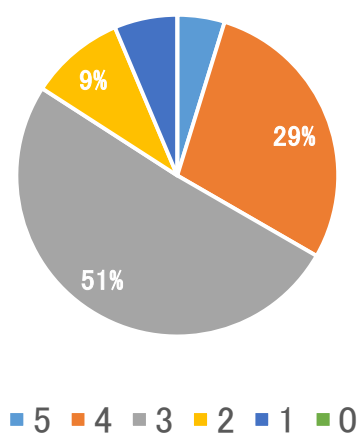


【平均値】 2.7

【到達段階】 3

様々な視点から多面的、客観的に検討をした上で、時間をかけずに自信を持って判断をすることができ、判断の理由も明確に述べるができる。

<主体性>

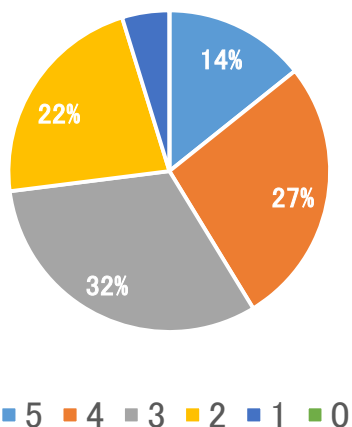


【平均値】 3.2

【到達段階】 4

自分の意志・判断で責任を持って行動する。大きな困難にぶつかった場合でも諦めずに挑戦し、周囲の助言や手助け等の身近な資源を活用して乗り越える。

<感情抑制力>

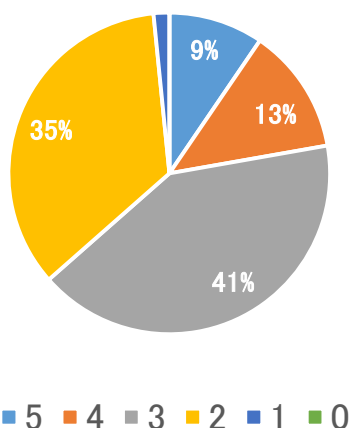


【平均値】 3.2

【到達段階】 4

意見が異なる場合でも感情的にならずに自分の意見を冷静に話すことができ、相手の考えも認めることができる。意見の相違をその後の人間関係に持ち越さない。

<セルフモチベーション>

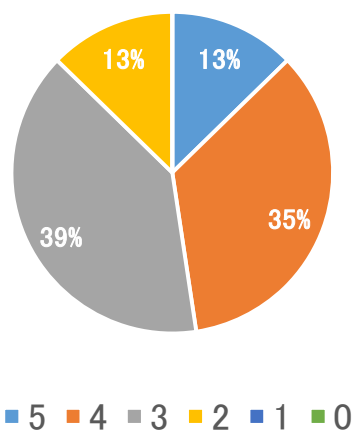


【平均値】 2.9

【到達段階】 3

直面する課題に対して、大変だと感じてでも課題に取り組む理由を明確にしながら自ら動機づけを高めることができる。行動の結果を次の機会に生かすことができる。

<協働力>

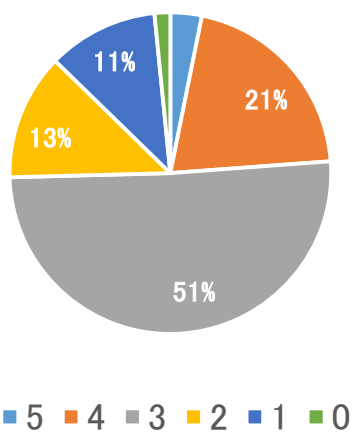


【平均値】 3.5

【到達段階】 4

チーム内のメンバーとの意見の違いを乗り越え、共通の目標のために、相手を尊重して、対等の立場で活動し、協力して作業にあたることができる。

<マネジメント力>



【平均値】 2.9

【到達段階】 3

実施する作業の順番や所要時間を決め、計画通りに作業を進めることができる。各自の能力や特性を生かし、特定の人に負担が集中しないように対応できる。